

平成25年5月17日

国宝・重要文化財（建造物）の指定について

文化審議会（会長 ^{みやた りょうへい} 宮田 亮平）は、平成25年5月17日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに1件の建造物（新規1件）を国宝に、9件の建造物（新規9件）を重要文化財に指定することを文部科学大臣に答申しました。

この結果、近日中に行われる官報告示を経て、重要文化財（建造物）は、2,406件、4,607棟※（うち国宝218件、266棟を含む。）となる予定です。

※同日答申の指定解除1件、1棟を除いた総数

◎今回の答申における特筆すべきもの

【国宝】 ^{ばん なじ} 鑿阿寺本堂 栃木県足利市

鑿阿寺本堂は、^{あしかが} 足利氏の居館跡に建てられた ^{ちゆうせい みつきようほんどう} 中世の密教本堂で、鎌倉時代最新の建築様式である ^{ぜんしゅうよう} 禅宗様をいち早く導入した。後の宗教建築の構造と意匠に大きく影響を与えた禅宗様の受容と定着の様相を示し、極めて価値が高い。また、様式の選択には明確な意図が認められ、我が国における外来新技術の受容のあり方を示しており、文化史的に深い意義を有している。

【重要文化財】 ^{きゅうまえ たけほんてい} 旧前田家本邸 東京都目黒区

旧前田家本邸は、^{か がほんしゆ} 旧加賀藩主前田家16代当主 ^{としなり} 利為が建設した本邸で、英国風の重厚な意匠を持つ ^{ようかん} 洋館と、^{げいひん しせつ} 迎賓施設に特化した ^{わかん} 和館からなり、敷地も良好に維持されている。昭和初期における ^{きけん} 貴顕の生活像が表現された建物として高い価値が認められる。

<担当> 文化庁文化財部参事官（建造物担当）
参事官 村田 健一（内線 2790）
調査部門 長尾 充、西岡 聡（内線 2793）
登録係 富田 文雄（内線 3160）
電話：03-5253-4111（代表）
03-6734-2792（直通）

【国宝 新指定の部】

- ① 鎌倉時代最新の建築様式である禅宗様をいち早く導入した密教本堂（近世以前／寺院）

鑿阿寺本堂 1棟

栃木県足利市

鑿阿寺

鑿阿寺は、足利市の中心市街にある、真言宗寺院である。境内は足利氏の居館跡と伝え、周囲に土塁と濠がめぐる。

鑿阿寺本堂は、大日如来を本尊とし、現在の建物は7代足利貞氏により正安元年（1299）に建立されたもので、応永14年（1407）から永享4年（1432）の修理により、柱と小屋組を強化して本瓦葺に改められた。その後、室町時代末期までに背面向拝をつけ、江戸時代中期に正面向拝が改造された。

平面は、典型的な密教本堂の形式だが、内外の組物は、禅宗様の詰組とする。

鑿阿寺本堂は、東日本を代表する中世の密教本堂で、当時最新の禅宗様をいち早く導入した建物である。わが国の宗教建築の構造と装飾の発展に寄与した禅宗様の、受容と定着の様相を示す遺構として極めて高い価値が認められる。

また、様式の摂取には要素の選択が認められ、我が国における外来新技術の受容のあり方を示しており、文化史的に深い意義を有している。



【重要文化財 新指定の部】

①米国建築書による洋風建築の習得を示す庁舎（近代／官公庁舎）

旧開拓使工業局庁舎 1棟

北海道札幌市
北海道

旧開拓使工業局庁舎は、北海道の開拓を主導した開拓使工業局の庁舎として、明治10年に札幌市街中心部の同局工作場内に建設され、昭和54年に北海道開拓の村に創建時の姿で移築された。

工業局営繕課は、米国から輸入した建築雛形書を参照しながら、洋風建築を習得していった。この建物では通り抜けの玄関ホール兼階段室をもつ平面構成や、屋根の棟飾り、ポーチの破風飾り、軒下の持送りなどに、米国建築書を参照したことが確認される。

旧開拓使工業局庁舎は、明治初期の北海道開拓を支えた同局工作場の現存唯一の遺構であるとともに、工業局営繕課の設計業務の実態を示す建物として歴史的に高い価値が認められる。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの



②洋風生活に合わせた洋館と迎賓施設である和館を持つ旧大名家の住宅（近代／住居）

旧前田家本邸 8棟

洋館、和館、洋館渡廊下、和館渡廊下、茶室待合、和館門及び塀、門衛所、正門及び塀、

土地

東京都目黒区
国、東京都、目黒区

旧前田家本邸は、旧加賀藩主前田家の本邸である。16代当主の侯爵前田利為が大正15年に本郷

から駒場への本邸移転を決定し、昭和4年に洋館、同5年に和館が竣工した。基本計画は塚本靖で、設計は洋館を高橋貞太郎、和館を佐々木岩次郎、茶室を木村清兵衛が担当した。

洋館は、英国風の重厚な意匠でまとめられ、家政の諸室も取り込んで、洋館だけで日常の生活が完結する。留学や駐在武官としてヨーロッパでの生活が長い利為の希望を反映している。和館は、外国賓客に日本文化を伝える目的で建設された迎賓施設に特化した近代和風建築である。

旧前田家本邸は、旧大名家が建設した和洋2館からなる住宅建築で、昭和初期における貴顕の生活像が表現された建物として高い価値が認められる。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの



③旧大家の所蔵品を収蔵、公開するための施設（近代／文化施設）

尊經閣文庫 4棟
 図書閲覧所、書庫、貴重庫、門及び塀、土地
 東京都目黒区
 公益財団法人前田育徳会



尊經閣文庫は、旧加賀藩主前田家所蔵の古書籍、古文書、美術品などを収蔵、公開するための施設である。名称は前田家5代綱紀が収集した「尊經閣蔵書」にちなむ。

大正15年に管理と運営のために公益法人育徳財団を設立し、本邸の駒場移転に合わせて、敷地の一郭に昭和3年に施設が建設された。

北側道路に面して、本邸正門とは別に門を開き、中央に図書閲覧所、南側に防火を考慮した鉄筋コンクリート造三階建の書庫と貴重庫が並ぶ。

尊經閣文庫は、旧大家による文化施設の先駆例として歴史的に高い価値が認められる。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの

④直線的な屋根形状を特徴とする徳川家ゆかりの菩提寺の堂宇群（近世以前／寺院）

英勝寺 5棟
 仏殿、山門、鐘楼、祠堂、祠堂門
 神奈川県鎌倉市
 英勝寺



英勝寺は、鶴岡八幡宮の西方、扇ガ谷に位置する徳川家康の側室の英勝院が創建した浄土宗の尼寺である。水戸徳川家とのゆかりが深く、同家の姫が代々の住持を務めた。

寛永20年（1643）の英勝院一周忌に向けて建物が整備された。

仏殿をはじめとする各建物は、禅宗様と和様を自由に組合せた江戸時代前期らしい意匠を持ち、屋根の弛みも軒の反りもつけない直線的な屋根形状で統一している。

山門は、関東大震災後、他所に移築されていたが、平成23年に境内の旧位置に戻された。

本堂西には祠堂と祠堂門が建ち、奥には英勝院墓がある。祠堂は方三間宝形造の建物で、内外部ともに漆塗や彩色で飾る。

英勝寺は、禅宗様を基調としつつ、屋根や軒を直線で構成するなど独創性のある意匠で、境内全体を統一している。江戸時代前期の主要な堂宇が、墓所と一体となって良好に保存されており、貴重である。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの、歴史的価値の高いもの

⑤ ^{あすけ}足助最古の主屋と最大規模の敷地を持つ商家の建築群（近世以前／民家）

^{きゆうすずき}旧鈴木家住宅（^{とよたしあすけちやう}愛知県豊田市足助町）16棟
^{おもや}主屋、^{ぶつまさしき}仏間座敷、^{しんざしき}新座敷、^{ほんざしき}本座敷、^{いどやかた}井戸屋形
^{かまや}及び^{たんがりよう}釜屋、^{はな}旦過寮、^{かみぐら}離れ、^{こめおきば}上蔵、^{しん}米置場、^{かざりものぐら}新蔵、^{こめぐら}飾物蔵、^{おおぐら}米蔵、^{みそぐら}大蔵、^{もんや}味噌蔵、^{だい}門屋、^{くこや}大工小屋、^ち土地



愛知県豊田市
豊田市、個人

旧鈴木家住宅は豊田市の東部、^{とよたしあすけ}豊田市足助
^{でんとうきけんぞうぶつぐんほぞんちく}伝統的建造物群保存地区内に位置する。

鈴木家は、近世は^{かみどんや}紙問屋、近代は土地経営などで財をなした。主屋は、^{あんえい}足助の安永の大火後、安永5年（1776）の建設で、敷地を拡張しながら^{ざしき}座敷や^{どぞう}土蔵を順次増築し、明治時代までに現在の建物が整備された。

旧鈴木家住宅は、足助において最大級の敷地をもち、主屋は地区内で最古の遺構である。近世から近代にかけての建物が良好に残り、足助の大規模商家の発展過程を示すものとして価値が高く、重要伝統的建造物群保存地区の核として重要である。

○指定基準＝流派的又は地方的特色において顕著なもの

⑥ ^{どうしや}浄土真宗本山寺院にふさわしい華麗な意匠による堂舎群（近世以前／寺院）

^{せんじゆじ}専修寺 11棟
^{さんもん}山門、^{からもん}唐門、^{つうてんきやう}通天橋、^{ごびやうはいどう}御廟拝堂、^{ごびやうから}御廟唐
^{もん}門及び^{すきべい}透塼、^{しょうろう}鐘楼、^{ちやじよ}茶所、^{たいこもん}太鼓門、^{おおげんかん}大玄関、
^{たいめんじよ}対面所、^{ししゆんかん}賜春館
 三重県津市
専修寺



専修寺は、津市街の北方に位置する^{しんしゆうたかだ}真宗高田
^は派の本山である。

^{しょうほう}正保2年（1645）の^{がらん}伽藍焼失後、^{しやうどう}順次、諸堂が再建された。このうち境内中央の^{みえいどう}御影堂
^{によらいどう}と如来堂は重要文化財に指定されている。

御影堂前の山門、如来堂前の唐門、御影堂と如来堂を結ぶ通天橋をはじめ、鐘楼や茶所が境内南側を構成する。境内西側には華やかな彫刻で飾られた御廟の^{しよげんちく}諸建築が、東側には^{でんしや}大玄関、^{さんじゆう}対面所、^{たいこやぐら}賜春館などの上質な殿舎群や、三重の太鼓櫓をもつ太鼓門が建ち並ぶ。

専修寺の堂舎群は、いずれも規模雄大で、優れた意匠を持つ。近世の浄土真宗本山寺院にふさわしい格式をもつ壮大な伽藍を創出しており、高い価値が認められる。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの、流派的又は地方的特色において顕著なもの

⑦江戸時代の屋敷構え一式を残す大規模農家（近世以前／民家）

堀家住宅（兵庫県たつの市龍野町） 23棟
 主屋、浜座敷、裏座敷、内蔵、乾蔵、二番蔵、
 浜蔵、三番蔵、四番蔵、五番蔵、大乾蔵、八
 番蔵及び九番蔵、六番蔵及び七番蔵、東蔵、
 十番蔵、味噌部屋、柴小屋及び漬物部屋、コ
 ナシ部屋、養蚕部屋、牛小屋、長屋門、西門、
 オウラ北門、土地



兵庫県たつの市
個人

堀家住宅は、龍野の城下町から揖保川を挟んだ東岸の龍野町日飼に所在する。堀家は旧日飼村の庄屋を務めた豪農で、近世には菜種などの流通で財をなした。

主屋は敷地の中心に建ち、主屋の周囲を長屋門や座敷、多数の土蔵がとり囲むように建つ。主屋の東には農作業用のコナシ部屋や牛小屋も残る。主屋は、明和4年（1767）の建設で、周囲の長屋門や土蔵群は幕末までに順次建設された。

堀家住宅は、年代が明らかなものとして播磨地方で最古の主屋をもち、近世に成立した屋敷構えが、破格の規模で維持されており貴重である。当地域の大規模農家の代表例として高い価値が認められる。

○指定基準＝流派的又は地方的特色において顕著なもの

⑧古風な構造と庭に開かれた座敷を持つ農家住宅（近世以前／民家）

尾崎家住宅（鳥取県東伯郡湯梨浜町） 9棟
 主屋、仏間、土蔵、質蔵、南蔵、米蔵、味噌
 蔵、物置及び新小屋、門長屋



鳥取県東伯郡湯梨浜町
個人

尾崎家住宅は、湯梨浜町の北端、日本海に面した宇野の集落に位置する。尾崎家は、室町時代に宇野に入り、近世には庄屋を勤め、18世紀中期に現在の敷地に移転し、主屋、仏間、門長屋、土蔵群を新築した。主屋と同時期に作庭された庭「松甫園」は名勝に指定されている。

主屋は、土間の独立柱など古い形式を残す一方、庭に面して数寄屋座敷を持つなど新しい要素も見られ、当地方の農家住宅の発展過程を示す。

尾崎家住宅は、18世紀中期に遡る大規模な主屋をもち、仏間、土蔵群、門長屋は当地方の大規模農家の屋敷構えを伝えるものとして価値が高い。

○指定基準＝流派的又は地方的特色において顕著なもの

⑨桃山時代の方丈形式の本堂と優美な靈屋を持つ城主の菩提寺（近世以前／寺院）

本源寺 5棟

本堂、庫裏、靈屋、靈屋表門、中門

岡山県津山市

本源寺



本源寺は、津山市街西部に位置する臨済宗妙心寺派の寺院で、津山城主森家の菩提寺として、慶長12年（1607）に現在の境内が整備された。

境内中央に本堂が建ち、東に庫裏が並ぶ。本堂北西が森家の墓所で、靈屋と靈屋表門を配す。

本堂は、慶長12年上棟の方丈形式の本堂で、六間取を基本として、北西に御座間、位牌壇を配する。正面は改造されているが、柱や梁組などの主要構造は当初の様子をよく留めている。庫裏は本堂よりやや下り、延宝（1673～1681）頃の建築とみられる。

靈屋は、寛永16年（1639）建立で正面の向拝に精緻な地紋彫を施し、内部も優美に飾る。

本源寺は、桃山時代の本堂を中心として、庫裏、中門、靈屋など、江戸中期までに整備された建物が残されている。地方における大名家菩提寺として建てられた臨済宗寺院建築の初期の遺構として価値が高い。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの

〈個別解説凡例〉

番号 特徴 (年代区分／種類別)

名称 員数

複数棟指定の場合の建造物の名称、土地* 等

所在地

所有者

(* 建造物と一体をなして価値を形成している土地をあわせて指定するもの。)

〈国宝・重要文化財の指定件数〉

平成 25 年 5 月答申

(国 宝)

	種 類 別	現在指定数		新規指定		合計		
		件数	棟数	件数	棟数	件数	棟数	
近世以前の分類	神社	39	65			39	65	
	寺院	152	160	1	1	153	161	
	城郭	8	16			8	16	
	住宅	14	20			14	20	
	民家	0	0			0	0	
	その他	3	3			3	3	
	小計	216	264	1	1	217	265	
近代の分類	宗教	0	0			0	0	
	住居	1	1			1	1	
	学校	0	0			0	0	
	文化施設	0	0			0	0	
	官公庁舎	0	0			0	0	
	商業・業務	0	0			0	0	
	産業・交通・土木	0	0			0	0	
	その他	0	0			0	0	
小計	1	1			1	1		
合計			217	265	1	1	218	266

(重要文化財)

	種 類 別	現在指定数		新規指定		指定解除		合計		
		件数	棟数	件数	棟数	件数	棟数	件数	棟数	
近世以前の分類	神社	567	1,194					567	1,194	
	寺院	849	1,124	3	21	1	1	851	1,144	
	城郭	53	235					53	235	
	住宅	94	150					94	150	
	民家	347	795	3	48			350	843	
	その他	193	261					193	261	
	小計	2,103	3,759	6	69	1	1	2,108	3,827	
近代の分類	宗教	25	32					25	32	
	住居	80	299	1	8			81	307	
	学校	39	67					39	67	
	文化施設	34	56	1	4			35	60	
	官公庁舎	22	27	1	1			23	28	
	商業・業務	20	27					20	27	
	産業・交通・土木	70	242					70	242	
	その他	5	17					5	17	
小計	295	767	3	13			298	780		
合計			2,398	4,526	9	82	1	1	2,406	4,607